



# 南房総の八風

[発行]

南房総教育事務所指導室

令和8年3月4日

【訂正版】第20号

文責 ICT推進班

## 情報活用能力を身に付けた授業

GIGAスクール構想が始まり、授業内でタブレット等を活用した授業が増えてきました。ICTを活用した授業改善には、情報活用能力に視点を当てる必要があります。

情報活用能力は、学習基盤の一つであり、ICT活用を充実させるために必要な資質・能力のことを言います。情報活用能力は、①問題の発見、明確化②解決策の検討・立案③問題解決の実行④振り返りといった一連のプロセスの中で、情報機器の操作スキルだけではなく、課題解決の目的に応じて、情報や情報技術を適切に選び、活用するために不可欠な能力です。

### <情報活用能力を活用した学習過程>

#### 1. 問題の発見、明確化

- 必要な情報を見つけるための「問い」を立てる。
- 資料の読み取りや情報不足を判断する。

#### 2. 解決策の検討・立案

- 情報を集める方法（検索方法、調査方法）や資料の種類や媒体を理解する。
- 仲間との対話を通して情報を共有・整理する。

#### 3. 問題解決の実行

- 適切なソフトや図・表を選択し、情報を分類、比較、分析する。
- 他者との情報を交換し、情報を広げる。

#### 4. 振り返り

- 調べた情報や成果を整理し、学習内容をまとめる。
- 情報活用を振り返り、次回につなげる。



文部科学省「情報活用能力育成のためのアイデア集」より

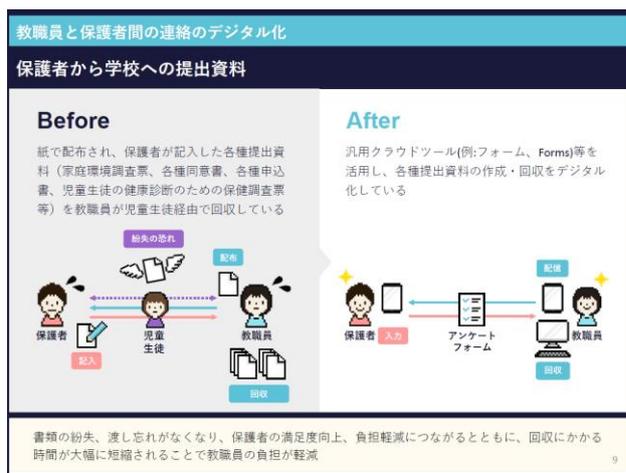
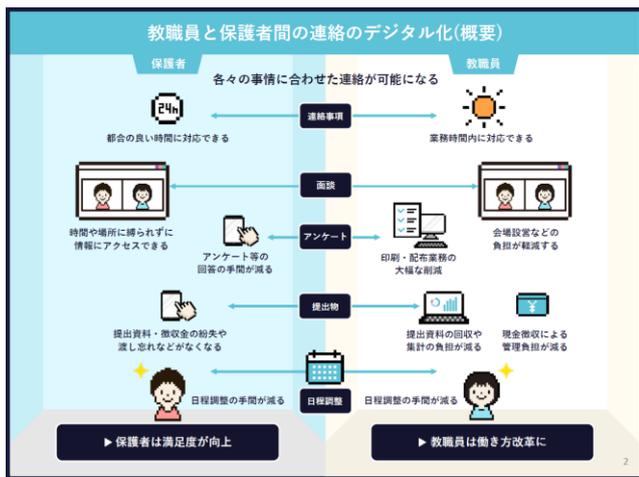
単元や題材の中で、意図的にこのような機会を指導計画に取り入れることが大切です。また、情報活用能力は、情報教育の全体計画の中に情報活用能力の体系表例を意識しながら、学校全体で計画を行い実施していく必要があります。

# 校務DXについて

GIGA スクール構想が始まり、授業での ICT の活用だけでなく、校務 DX の必要性も求められています。校務 DX が必要な理由としては、「教職員の業務負担の軽減」「情報の一元管理と共有」「教育の質の向上」「災害や感染症への対応力」「保護者や地域との連携強化」の面で学校に新たな可能性があります。

文部科学省から学校向けに「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリスト」が公開されています。学校内の校務の中で活用できるものが多くあります。各学校の実態に合わせて、検討してみてください。

## 校務DXの例 文部科学省「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリスト」より



## 「AI」使ってみました(活用例) ※生成AIを利用して作成



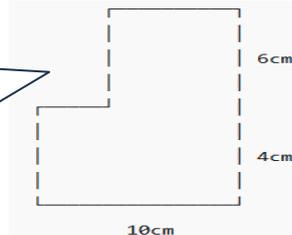
【AIへの命令】理科の実験で、メスシリンダーを使っている生徒のイラストを描いて。

【AIへの命令】小学校4年生の宿題として面積の問題を1問作って。その図形もお願い。

【問題】面積をもとめよう  
下のようなL字の形があります。  
この図形の面積は何平方センチメートルでしょうか。

【追加】必要に応じて「保護メガネを着用して」「人数を増やして」などと命令をすると、さらに修正したイラストを描いてくれます。

【注意】このままでは、数値表示の不足で解けません。作成後に修正が必要です。



他にも「お便りの文案」「長い文章の要約」などもできます。上手に活用すれば便利なAIですが、出来上がったものに、誤りはないか、著作権侵害にならないかなど、最後は責任をもって確認する必要があります。

## 【参考にした情報関係の資料】

### 1. 情報教育全体計画と情報活用能力体系表

南房総教育事務所指導室のホームページに、「情報教育全体計画」の形式例と「情報活用能力体系表」の例を掲載しています。こちらを参考に、各学校の整備を進めてください。

### 2. 情報活用能力育成のためのアイデア集

文部科学省が掲載している情報活用能力育成を進めるためのアイデアが掲載されています。こちらを参考に、授業改善にご活用ください。

### 3. 学校向け GIGA スクール構想の下での校務DXチェックリスト

文部科学省が掲載している GIGA スクール構想での校務 DX チェックリストとして、様々な取り組みが紹介されています。こちらを参考に、各学校で取り組めるものを検討してみてください。

